



全国酸素部会新聞

発行 建交労 全国酸素部会機関紙部
大阪府堺市西区石津西町12番

TEL 072-241-6660

メール ctgsansobukai@ybb.ne.jp

HP <http://sansobukai.web.fc2.com>



全国酸素部会第36回定期総会

2月10日全国酸素部会第36回定期総会が大阪のPLP会館で行われました。全国から40名の仲間が集い、総会の議長には立正運送の島向氏が任命されました。はじめに全国酸素部会の米田部会長から挨拶があり、厳しい日本の情勢やトラック業界全体における人手不足と長時間過密労働の問題などが報告されました。また憲法9条改憲や労働法制の改悪を許さない取り組みの強化が求められていると話されました。続いて鷹巣事務局長からは2019年度の運動方針案がだされ、業種別運動の課題や働くルールの確立、大幅賃上げを目指した春闘の展開などが示されました。組織拡大



では大陽液送分会大田貨物運送班7名が全国酸素部会に加盟しました。各爭議職場の報告では、テーエス支部が会社と和解が成立、エスイーイーでは権利侵害の訴訟、大田貨物の不誠実な会社の対応などの報告がなされました。総会宣言(案)を東進分会須田氏が読み上げ、総会スローガン提案と共に採択されました。最後に米田部会長の力強い団結ガンバロー!!で第36回定期総会が閉会しました。

寿運送分会 本澤 友樹

高压ガスの輸送保安講習会

2月10日PLP会館で高压ガスの輸送保安講習会が行われ、全国から41名の関係者が参加しました。全国酸素部会の鷹巣事務局長が総合司会を務め、主催者の米田部会長の挨拶があり講習会が始まりました。一人目の講師は、経済産業省中部近畿産業保安監督部近畿支部の小西努氏で、高压ガス事故の動向についての講義がありました。その中で、今後の水素社会の実現に向けた高压ガス保安規則の見直しや、災害対策として『平成30年7月豪雨』による充填所からの容器流出に関する再発防止の取り組みについての報告がありました。それから高压ガス事故の動向を平成元年からのグラフを見ながらその推移の説明があり、平成30年の事故状況については詳細な資料に事故の概要、原因や状況が詳しく記載されていたので受講者にとっては、とても参考になったと思います。



続いて二人目の講師は、日本産業・医療ガス協会の大沼倫晃氏で、高压ガスの移動中の事故・トラブル問題点について講演されました。まず高压ガス保安法の概略、定義の説明があり、産業ガス事故の中でも『移動』に関係する事故についてのデータを見ながら、分析結果を述べられました。受講者の多くがローリー運転手ということもあり、充填中・運行中の異常時の措置をわかりやすく説明していただき、そして高压ガスの物性と注意点、可燃性ガスや高压ガスポンペの危険性について、普段の業務の中では、なかなかわからない危険性に改めて気付かされることで受講者の方々には大変有意義な講習会になったと思います。

寿運送分会 岸本吉央

第3 1回大陽日酸連絡会

2月9日、大阪天満にある国労会館で大陽日酸連絡会が開催されました。

建交労全国酸素部会に加盟している大陽日酸系運輸労組が集結し、各労組の状況報告、自分達が抱えている問題に対する質問やアドバイス、今後の連絡会と全国酸素部会の方向性など本音での討論がありました。

連絡会終了後は会場を移し交流会がありました。

九州から東北、年齢層30代から60代、馬鹿っ話しや仕事・組合の話し様々な話題で盛り上がり、翌日に控えた全国酸素部会第36回定期総会に向け鋭気を養いました。

幸栄運輸支部 相澤 稔



第13回日本エア・リキード連絡会

2月9日、日本エア・リキード連絡協議会第13回総会がテーエス、イワサワ、エアケミ、関東マルエスの職場代表者8名の参加で開催されました。ALJ関連で働く労働者で組織され、「安全・安心」な職場環境の構築を目指し、結成された日本エア・リキード連絡協議会は結成14年目を迎えました。総会では活動報告として、2019年1月28日におこなわれた日本産業・医療ガス協会への要請行動の内容が報告され、工業ガス業界の現状の中で、業界の情勢や2018年のガス市場の動向や、各職場から現状の報告を受け、今後の進め方を議論しました。ALJ連絡会は、ALJ関連で働く労働者の処遇改善にむけた先駆者的存在となり、同関連で働く全ての労働者を視野にいれたとりくみをすすめていくことが求められます。会員拡大を引き続き行うことを再度確認し、最後に2019年度の新役員体制を全体で確認し、総会は無事に終了しました。



ALJ連絡協議会 木田英樹